

＼ 江里山を語ろう ／

だんだんだより



“だんだん”になった田んぼが広がる
みなさんのふるさと“江里山”について
少しお話しませんか

これまでの江里山について
これからの江里山について
“団らん”しながら色々教えてください

そのきっかけづくりとして
みなさんとのコミュニケーション誌
「だんだんだより」を発行しました

みなさんと一つ（団）になって
江里山のことを考えていきたいので
よろしくお願いします

＼ 江里山を語ろう ／

だんだんだより



“だんだん”が広がる江里山

「だんだんノート」を置いてみました



江里山に来ていただいた方とのコミュニケーションツールとして、自由に書き込めるノートを彼岸花観賞広場に設置しました。
みなさんも、江里山のPRやそのときの思いなどを、ぜひ書き込んでください。

2022.4

発行
棚田げんきスタッフ
(小城市地域おこし協力隊)



げんきの種まき

(棚田げんきスタッフ活動報告)

2022.2

橋本さん(佐賀県地域おこし協力隊ネットワーク)と瀬尾さん(小城市地域おこし協力隊)が江里山に来てくださり、江里山観音や七曜の滝などを一緒に巡りました。



橋本さん 田中 瀬尾さん

瀬尾さんに感想を聞きました / 江里山の方が代々大切に守ってこられた棚田も家も自然も本当に素敵なおとろだと思えます。行けば五感が喜びます。静かに泳ぐ鯉や木の樹齢から感じる歴史など行くたびに小さな発見をするのも楽しみです。

橋本さんに感想を聞きました /

棚田の中に暮らしの息づかいが感じられて、居心地のいい集落だなと思えます。サイズ感が絶妙で、かわいらしい箱庭みたい！甘露水のやさしい味わいにも癒やされました。彼岸花の咲く季節にまた来たいです！

2022.2.20

江里山公民館で、棚田げんきスタッフの活動報告を行いました。これからも、みなさんと一緒に江里山のことを考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。みなさんの“あがんしたか こがんしたか”を、ぜひ教えてください！

“あがんしたか こがんしたか”集まっています /

「棚田米ばもっと売りたいかあ」「他地域と棚田米の食べ比べセットを販売するのはどがん？」「棚田の保全に充てる資金ば集めたかねえ」「これからの江里山について若か人の意見ば聴きたかあ」「棚田ば開放して野菜などを育ててもらおうのはどがんかな？」「田植えや稲刈りイベントばしたかね」「昔は大きか鍋で“ひばの汁”ば作ってみんなで食べよったよ～」

2022.2

田おこしを見学しました。田んぼの形状に沿ってトラクターが進んでいく～！スゴ技ですね！棚田を管理していくためには、高度な技術が必要だと実感しました。



江里山の空に想う

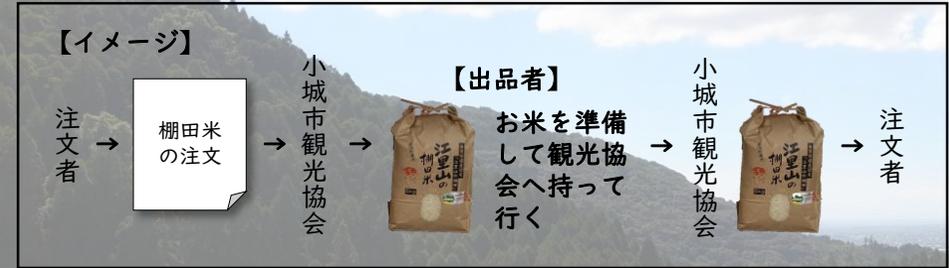
あがんしたか / こがんしたか

江里山のこれからを考えるヒントになる(かもしれない)情報やアイデアをお届けします。

みなさんが大切に育てられた「棚田米」。江里山から全国各地へ届けてみませんか？今回は、お米を届けることができるルートをご紹介します。

■ 小城万彩(おぎまんさい)とふるさと納税 ■

小城市観光協会が運営されているネットショップ「小城万彩」や、小城市ふるさと納税の返礼品に「棚田米」を出品した場合、以下の流れで、注文者の方に届けることができます。



小城万彩もふるさと納税も、小城市観光協会が、注文者と出品者の間に入って、注文の受付や支払い手続き、注文者へのお米の配送などをしてくださるそうです。その他、気になることや「やってみたいけれどココはどうしよう...」など、何かございましたら、棚田げんきスタッフへご連絡ください。

小城万彩

ふるさと
チョイス



江里山 画廊

江里山で出会った
今月一枚

▶▶ 江里山の看板と
季節感のある装飾

活動中に印象に残ったものを“江里山で出会った一枚”としてご紹介します。



【コメント】

江里山の魅力がギュッと詰まった看板と棚田米の装飾は、前を通る度に見入ってしまいます。季節感のある装飾は「次は何か？」と密かに楽しみにしています。

つなぐ棚田遺産に 認定されました



2022年3月25日(金)に、オンラインで「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」の認定式が行われました。また、同日、小城市役所で、認定証が授与されました。



江里山自治会代表の代理として、阿南さんが認定証を受け取られました！

記念撮影では私も認定証を持ってパチリ！



だんだんだより (2022.4)